音楽科　３年

題材	Ⅰ　音楽で心をつなげよう　　４月（３時間）				
目標	歌詞や旋律と曲想との関わりに気付き，自然で無理のない声で歌ったり友達とリズムをつなげて演奏したりする。				
評価規準	(①知　・　技)歌詞や旋律と曲想との関わりに気付き，自然で無理のない声で歌っている。 (②思・判・表)歌詞に合った歌い方や，友達とのリズムのつなげ方について思いや意図をもっている。 (③主体的態度)友達と楽しく，声を合わせて歌ったりリズムに合わせて手拍子を打ったりしている。				
教材	ア…友だち　　秋間ゆう子 作詞・作曲　　ヘ長調　　４分の４拍子 イ…リズムでなかよくなろう				
過程	時間	配分	学習活動	指導上の留意点	評価項目＜評価方法（観点）＞※太字は「記録に残す評価」
であう	Ⅰ	ア	○『友だち』を聴いたり小さな声で歌ったりして，学習のめあてをつかむ。 学習のめあて 音楽で友達となかよくなろう	○自分たちの気持ちと歌詞との共通点を見いだせるように，３年生になった自分たちの気持ちを伝え合う機会を設定する。	◇旋律の特徴や歌詞の内容と曲想の関わりに気付き，友達とともに歌うことの喜びを感じながら歌っている。　＜表現①②③＞
追求する	Ⅰ		○『友だち』の歌詞に合った歌い方を考える。	○歌詞にあった音色や強弱の工夫に気付けるように，子どもたちの考えた様々な音色や強弱で試行する機会を設定する。	**◇歌詞と音色や強弱との関わりを生かして歌うことについて発言したり，それらを生かして歌ったりしている。　＜発言・表現②＞**
まとめる生かす	Ⅰ	イ	○『リズムでなかよくなろう』を手拍子を打ちながら遊ぶ。	○様々なリズムの叩き方やつなげ方に気付けるように，新しいリズムの叩き方をしている児童を紹介する機会を設定する。	◇４拍子の拍の流れに乗って，手拍子のつなげ方をを工夫しながら，楽しく手拍子を打っている。　＜表現①②③＞
【備考】 ・学習する音楽を形づくっている要素：旋律，リズム，拍					

音楽科　３年

題材	２　音のかいだんであそぼう　　４・５月(８時間)
目標	ハ長調の音階や ト音記号，五線について理解し，演奏したり旋律づくりをしたりする。
評価規準	(①知　・　技) ハ長調の音階や ト音記号，五線を理解して，正しい音程で演奏をしたり，簡単な旋律づくりをしたりしている。 (②思・判・表) 音の高さに合わせて身体表現をしたり演奏したりすることや，ハ長調の音階で旋律をつくることについて思いや意図をもっている。 (③主体的態度) ハ長調の旋律に関心をもって，演奏したり旋律をつくったりすることに取り組もうとしている。
教材	ア…ドレミで歌おう　小原光一 作詞　作曲者不明　ハ長調　４分の４拍子 イ…春の小川　文部省唱歌　高野辰之 作詞　岡野貞一 作曲　ハ長調　４分の４拍子 ウ…海風きって　高木あきこ 作詞　石桁冬樹 作曲　ハ長調　４分の４拍子 エ…茶つみ　文科省唱歌　ト長調　4分の４拍子

過程	時間	配分	学習活動	指導上の留意点	評価項目＜評価方法（観点）＞※太字は「記録に残す評価」
であう	1	ア	○『ドレミで歌おう』の階名唱をしたり身体表現をしたりして，学習のめあてをつかむ。 学習のめあて 音の高さを感じ取りながら演奏しよう	○ハ長調の旋律に関心をもって，階名唱や視唱に取り組めるように，音の高さに合わせて手の高さを変える身体表現をする機会を設定する。	◇ハ長調の旋律に関心をもって，階名唱や身体表現に取り組もうとしている。　＜表現③＞
追求する	1	イ	○『春の小川』を歌ったり，旋律の動きに合わせて体を動かしたりする。	○同じ旋律の動きと違う旋律の動きに気付き，音の高さに合わせて歌ったり体を動かしたりできるように，楽譜を色分けする機会を設定する。	◇ハ長調の音階と五線との関わりに気付き，正しい音程に合わせて歌ったり体を動かしたりしている。　＜表現①＞
	2		○『春の小川』をキーボードで演奏する。	○段ごとの音の高さを比較しながら演奏できるように，色分けした楽譜を基に，部分ごとに演奏する機会を設定する。	**◇正しい音程でキーボードを演奏している。　＜表現①＞**
	1	ウ	○『海風きって』を，キーボードで演奏する。	○ハ長調の音程と音符の高さとの関わりに気付けるように，楽譜に階名を記述する機会を設定する。	◇正しい音の高さで旋律を歌おうとしている。　＜表現①②③＞
	1		○『海風きって』の最後の２小節の旋律づくりをする。	○ハ長調の音階の旋律づくりで音程を工夫できるように，複数の音の中から使用する音を自分で選べる簡易楽譜を用意する。	**◇ハ長調の音から音を選び,旋律づくりをしている。　＜表現②＞**
まとめる 生かす	2	エ	○『茶つみ』を音の高さに気を付けながら歌う。	○音の高さが変わっていくことに気付けるように，音程に合わせて自分の体を叩きながら歌う機会を設定する。	**◇音の高さを意識しながら，小さな声で歌ったり，体を動かしたりしている。　＜表現①②③＞**

【備考】
・『茶つみ』は八十八夜に合わせて歌えるとよい。
・学習する音楽を形づくっている要素：音階，旋律，音色，拍

音楽科　３年

題材	３　せんりつにのって　りずむであそぼう	５・６月（６時間）
目標	旋律やリズムの特徴を感じ取りながら，拍にのって音楽表現をする。	
評価規準	(①知　・　技)旋律やリズムの特徴を理解し，拍にのって歌ったり，演奏したり，まとまりのあるリズムをつくったりしている。 (②思・判・表)旋律やリズムの特徴を生かして演奏の仕方やリズムの組合せを工夫することについて思いや意図をもっている。 (③主体的態度)旋律やリズムの特徴に関心をもち，拍にのって歌ったり演奏したり，リズムをつくったりする活動に進んで取り組もうとしている。	
教材	ア…ゆかいな木琴　　小林純一 作詞　　作曲者不明／原由多加 編曲　　ハ長調　　４分の２拍子 イ…手拍子でリズム	

過程	時間	配分	学習活動	指導上の留意点	評価項目＜評価方法（観点）＞※太字は「記録に残す評価」
であう	1	ア	○『ゆかいな木琴』を聴いたり歌ったりして，学習のめあてをつかむ。 学習のめあて 旋律やリズムの特徴を感じ取りながら拍にのって演奏しよう	○旋律の特徴を感じ取れるように，曲の歌詞に合わせて体を動かす時間を設定する。	◇旋律の弾む感じを感じ取り，旋律の特徴について発言したり記述したりしている。 ＜発言・記述①②③＞
追求する	1		○『ゆかいな木琴』の主旋律や副旋律を演奏する。	○各パートのリズムの違いに気付けるように，旋律に合わせて手拍子でリズムを打つ機会を設定する。	◇各パートのリズムの違いを生かして演奏することに思いや意図をもち，発言したり記述したりしている。 ＜発言・記述②＞
	2		○『ゆかいな木琴』の合奏をする。	○拍にのって合奏をできるように，低音楽器や伴奏の音など音を合わせる際の基準となるパートを例示する。	**◇旋律やリズムの特徴に気付き，周りの音を聴きながら，拍にのって合奏をしている。** **＜表現①＞**
まとめる　生かす	1	イ	○『手拍子でリズム』で，４小節のリズムをつくる。	○反復の仕組みを使って，４小節のリズムをつくれるように，ペアでお互いのリズムを模倣し合う機会を設定する。	◇反復の仕組みを使って，４小節のリズムをつくることについて思いや意図をもち，繰り返し試している。 ＜表現②＞
	1		○『手拍子でリズム』で，グループごとにまとまりのあるリズムをつくる。	○反復や変化を生かしてリズムを工夫できるように，つなぎ方や重ね方の例を提示する。	**◇反復や変化を生かし，リズムを工夫しながら旋律をつくっている。　＜表現①②③＞**

【備考】
・学習する楽を形づくっている要素：拍，リズム，反復
・音符，休符，記号や用語：４分の２拍子

音楽科　３年

題材	４　こんにちはリコーダー　　５・６月(４時間)
目標	リコーダーの運指やタンギング等の基本的な奏法を身に付けて，きれいな音色で演奏する。
評価規準	(①知　・　技)リコーダーの音色や奏法と曲想との関係に気付き，リコーダーの基本的な演奏の仕方で演奏している。 (②思・判・表)リコーダーの運指やタンギングの仕方，息の使い方を工夫して演奏することについて思いや意図をもっている。 (③主体的態度)リコーダーの音色に関心をもち，楽しく演奏しようとしている。
教材	ア…【鑑】ピタゴラスイッチ　　栗原正己 作曲 イ…【鑑】小鳥のために　　作曲者不明 ウ…きれいなソラシ　　吉澤実 作詞・作曲　　ト長調　　４分の４拍子 エ…坂道　　鹿谷美緒子 作曲　　ハ長調　　４分の２拍子 オ…アチャ　パチャ　ノチャ　　ラップランド民謡／三宅悠太 編曲　　ト長調　　４分の４拍子

過程	時間	配分	学習活動	指導上の留意点	評価項目＜評価方法（観点）＞※太字は「記録に残す評価」
であう	１	ア イ	○『ピタゴラスイッチ』や『小鳥のために』を聴いたり，リコーダーを簡単に吹いてみたりして，学習のめあてをつかむ。 学習のめあて リコーダーをきれいな音で演奏しよう	○リコーダーの音色の特徴に気付けるように，複数の曲を比較鑑賞する時間を設定する。	**◇リコーダーの音色に関心をもち，リコーダーの音色について発言したり記述したりしている。 ＜発言・表現②＞**
追求する	１	ウ	○『きれいなソラシ』を聴いたり，シ・ラ・ソの運指やタンギングの仕方についての動画を見たりする。	○シ・ラ・ソの運指やタンギングの奏法を身に付けられるように,運指表と舌の位置を表した図を黒板に掲示する。	◇正しい運指やタンギングで演奏することについて思いや意図をもって発言したり記述したりしている。 ＜発言②＞
	家庭		○『きれいなソラシ』や，シ・ラ・ソをタンギングに気を付けて吹く。		
	１	エ	○『坂道』や様々なリコーダーの曲を聴く。	○リコーダーに吹き込む息のスピードや強さを変えると音色が変化することに気付けるように，息のスピードや強さを変えた演奏を例示する。	**◇リコーダーに吹き込む息のスピードや強さを工夫して演奏することについて思いや意図をもち，発言したり記述したりしている。　＜表現②＞**
	家庭		○『坂道』をリコーダーで吹く。		
まとめる生かす	１	オ	○リコーダーの『きらきら星』を聴く。	○リコーダーの音色に気付けるように，他の楽器で演奏した『きらきら星』と比較鑑賞する時間を設定する。	◇リコーダーのきれいな音色や息の使い方に気付き，それらについて発言したり記述したりしている。 ＜表現①②③＞

【備考】
・範奏ＣＤ，拡大譜，リコーダー運指表を準備する。補助教材として,『笛星人』というリコーダー練習曲集に『笛星人』『さくら笛』『猫吹いちゃった』等がある。
・H30年度のリコーダー講習会は，５月第４週に実施した。R02年度はＤＶＤ教材を視聴し，リコーダー講習会は実施していない。
・学習する音楽を形づくっている要素：音色，リズム，旋律

音楽　３年

題材	５　ちいきにつたわる音楽でつながろう	８・９月(８時間)
目標	お囃子の曲想と旋律の関わりに気付き，楽しみながらお囃子を演奏したり旋律をつくったりする。	
評価規準	(①知　・　技)お囃子の曲想と旋律の関わりに気付き，お囃子に合わせて打楽器を演奏したり簡単な旋律をつくったりしている。 (②思・判・表)お囃子の面白さを見いだしながら聴いたり，お囃子の曲想と旋律の関わりを生かして演奏することについて思いや意図をもっている。 (③主体的態度)お囃子の面白さを感じ取り，進んでお囃子を演奏したり旋律をつくったりしようとしている。	
教材	ア…【鑑】　祇園囃子　京都府 イ…【鑑】　ねぶた囃子　青森県 ウ…【鑑】　神田囃子「投げ合い」　東京都 エ…ラドレの音でせんりつづくり オ…うさぎ　日本古謡	

過程	時間	配分	学習活動	指導上の留意点	評価項目＜評価方法（観点）＞※太字は「記録に残す評価」
であう	2	アイウ	○『祇園囃子』『ねぶた囃子』『神田囃子』を聴き，学習のめあてをつかむ。 学習のめあて 祭り囃子に親しもう	○地域によるお囃子の違いに気付けるように，地域の違うお囃子を聴き比べた後，違いについて話し合う機会を設定する。	◇お囃子の面白さやよさを見いだし，それらについて発言したり記述したりしている。 ＜発言・記述②＞
追求する	2		○『神田囃子（投げ合い）』に合わせて締太鼓を演奏したり唱歌を口ずさんだりする。	○曲に合わせて締太鼓の叩いたり唱歌を歌ったりできるように，太鼓と唱歌用の楽譜を用意する。	◇お囃子の面白さを楽しみながら，拍子に合わせて締太鼓を叩いている。 ＜表現①＞
	1	エ	○‘ラ・ド・レ’の音を使って，キーボードで一人一人で簡単なお囃子の旋律をつくる。	○お囃子をつくるための発想を得られるように，リズムに‘ラ・ド・レ’の音を自由に当てはめて旋律をつくって遊ぶ時間を設定する。	◇お囃子の感じを生かしながら旋律をつくることについて思いや意図をもち，発言したり記述したりしている。 ＜記述・表現②＞
	1		○グループでリズムや音を工夫しながら，イメージに合うオリジナルお囃子の旋律づくりをする。	○お囃子の感じを生かして旋律をつくれるように，‘ラ・ド・レ’の音を当てはめるお囃子カードを用意する。	**◇グループのイメージに合うように，オリジナルお囃子のリズムや音を変えている。** **＜記述・表現②＞**
まとめる生かす	1		○グループごとにオリジナルお囃子を発表し合う。	○旋律づくりの楽しさを味わえるように，グループのオリジナルお囃子を友達と一緒に演奏した後，面白さについて話し合う機会を設定する。	**◇お囃子の面白さを感じ取りながら演奏したり，友達のお囃子のよいところを伝えたりしている。** **＜表現・発言①②③＞**
	1	オ	○『うさぎ』を歌う。	○日本で昔から歌われてきたことに気付けるように，『うさぎ』と月の話を紹介する時間を設定する。	◇日本の曲の感じを生かして，声の出し方を工夫しながら歌っている。 ＜表現①②③＞

【備考】
・学習する音楽を形づくっている要素：音色，リズム，速度，呼びかけとこたえ

音楽科　３年

題材	６　せんりつのとくちょうをかんじとろう	９・１０月（５時間）
目標	旋律の特徴を聴き取り，旋律に合った奏法で歌ったり演奏したりしている。。	
評価規準	(①知　・　技)曲想と旋律の関わりに気付き，互いの歌声や楽器の音を聴き合い，音を合わせて演奏している。 (②思・判・表)旋律の重なる和音の響きを感じ取り，音を重ねて演奏することについて思いや意図をもったり，主旋律と副次的な旋律の重なりによって生まれる響きの美しさを味わって聴いたりしている。 (③主体的態度)旋律や音の重なり合う響きに関心をもち，互いの音や旋律を聴き合いながら表現しようとしている。	
教材	ア…あの雲のように　芙龍明子 作詞　作曲者不明　ト長調　４分の３拍子 イ…ふじ山　文部省唱歌　巖谷小波 作詞　ハ長調　４分の４拍子	

過程	時間	配分	学習活動	指導上の留意点	評価項目＜評価方法（観点）＞※太字は「記録に残す評価」
であう	１	ア	○『あの雲のように』を聴いたり，旋律を口ずさんだりして，学習のめあてをつかむ。 学習のめあて 旋律の特徴を見付けよう	○曲想と旋律の動きとの関係に気付けるように，手を旋律に合わせて上げたり下げたりする機会を設定する。	◇旋律の動きに関心をもち，旋律の特徴と曲想との関係に気付いて手を動かしたり，発言したりしている。　＜表現。発言③＞
追求する	１		○『あの雲のように』の副次的な旋律をキーボードやリコーダーで演奏する。	○旋律の重なる響きに気付けるように，歌うグループと聴くグループに分かれて旋律の重なりを聴く機会を設定する。	◇互いの旋律を重ねるおもしろさについて発言したり，楽しみながら演奏したりしている。　＜発言・表現②＞
	１		○『あの雲のように』の主旋律と副次的な旋律を，合わせて演奏する。	○旋律の動きを意識できるように，楽譜にフレーズや音符を追う線を記述する機会を設定する。	◇旋律の動きの特徴について発言したり楽譜に記述したりしている。　＜発言・記述①＞
	１	イ	○『ふじ山』を聴きながら指揮をする。	○旋律と曲想の関わりに気付けるように，曲想に合わせて振る大きさを変えながら指揮をする機会を設定する。	**◇旋律の特徴に気付き発言している。　＜発言①＞**
まとめる生かす	１		○『ふじ山』の旋律に合わせて歌ったり指揮をしたりする。	○旋律の特徴を意識しながら歌ったり聴いたりすることができるようになったことを実感できるように，グループごとに，指揮者と歌う役割に分かれて歌う機会を設定する。	**◇互いの旋律の特徴を聴き合いながら，曲想にあった音色で歌っている。　＜表現・発言①②③＞**

【備考】
・学習する音楽を形づくっている要素：旋律，フレーズ，音の重なり

音楽科　３年

題材	７　曲のかんじを生かそう　　１１・１２月(９時間)
目標	旋律や音色の特徴から曲想を感じ取り，曲想に合った表現で演奏したり音楽をつくったりしている。
評価規準	(①知　・　技)旋律や音色の特徴と曲想の関わりに気付き，曲想に合った音色でキーボードを演奏したり音楽をつくったりしている。 (②思・判・表)旋律や音色の特徴と曲想の関わりを生かし，曲想に合った音色で演奏することについて思いや意図をもったり，旋律の特徴を見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (③主体的態度)旋律や音色の特徴や曲想に関心をもって聴いたり，演奏したりすることに進んで取り組もうとしている。
教材	ア…【鑑】メヌエット　　ベートーベン 作曲 イ…山のポルカ　　チェコ民謡／岡部栄彦 編曲　　ハ長調　　４分の２拍子 ウ…おかしのすきな　まほう使い　　秋葉てる代　作詞　　大熊崇子　作曲 エ…まほうの音楽

過程	時間	配分	学習活動	指導上の留意点	評価項目＜評価方法（観点）＞※太字は「記録に残す評価」
であう	１	ア イ	○『メヌエット』を聴き，学習のめあてをつかむ。 学習のめあて 曲のイメージに合う演奏の仕方を見つけよう	○旋律の違いによる曲のイメージの違いに気付けるように，場面ごとに比較鑑賞する機会を設定する。	◇旋律の特徴の違いによる曲想の違いについて気付き，発言したり記述したりしている。 ＜発言・記述①②③＞
追求する	１		○『山のポルカ』を聴いたり，リコーダーの運指や奏法の動画を見る。	○リコーダーの音色とキーボードの音色の違いによる，曲想の違いに気付けるように，リコーダーとキーボードを比較する機会を設定する。	◇旋律の特徴から曲想の違いを感じ取り，息の使い方やタンギングに気を付けてリコーダーを演奏している。 ＜表現①＞
	１		○『山のポルカ』をリコーダーで演奏する。		
	１		○『おかしのすきなまほうつかい』を聴いたり歌ったりする。	○曲想から曲のイメージを思い浮かべられるように，歌詞や旋律と曲のイメージを整理して黒板に板書する。	◇曲のイメージを思い浮かべ，発言したり記述したりしている。 ＜発言・記述②＞
	１		○『おかしのすきなまほうつかい』の歌い方を工夫して歌う。	○歌詞に合わせて歌い方を工夫できるように，魔法使いの気持ちを想像する機会を設定する。	**◇曲想に合わせて声の出し方を工夫することについて発言したり，工夫して演奏したりしている。 ＜表現②＞**
まとめる生かす	２		○グループごとに「まほうの音楽」をつくる。	○「まほうの音楽」に使う楽器の音色についての発想を得られるように，様々な楽器を自由に試奏できる場を設定する。	◇まほうの音楽に合う楽器の音を見付け，発言したり記述したりしている。 ＜表現②＞
	２		○グループごとの「まほうの音楽」を発表する。	○曲想と楽器の音色とを関連付けながら音楽をつくれたことを実感できるように，友達のグループの発表を聴いて思い浮かべたイメージと理由を伝え合う時間を設定する。	**◇曲想と楽器の音色を結び付けながら友達の演奏を聴き，感想を伝えたり記述したりしている。 ＜発言・記述①②③＞**

【備考】
・学習する音楽を形づくっている要素：旋律，音色，リズム，音階

音楽　３年

題材	８　いろいろな音色を重ねてみよう　　１２・１・２月（９時間）				
目標	互いの楽器の音や副次的な旋律が重なる音の響きを聴きながら，きれいに音を合わせて合奏をする。				
評価規準	(①知　・　技)楽器の音や旋律の重なる響きと音の重なりとの関わりを聴き取り，互いの楽器の音や旋律を聴きながら，拍を意識して演奏している。 (②思・判・表)拍を意識して，友達と音を合わせて演奏する方法を考えたり，工夫して演奏したりしている。 (③主体的態度)楽器の音や旋律の重なる響きに関心をもち，友達と音を合わせて演奏する活動に楽しく取り組んでいる。				
教材	ア…【鑑】トランペットふきの休日　アンダソン 作曲 イ…【鑑】アレグロ　モーツァルト 作曲 ウ…パフ　芙龍明子 作詞　ピーターヤーロウ・レナードリプロン 作曲／浦田健次郎 編曲　ハ長調　４分の４拍子				
過程	時間	配分	学習活動	指導上の留意点	評価項目＜評価方法（観点）＞※太字は「記録に残す評価」
であう	１	ア	○『トランペットふきの休日』と『アレグロ』を音色に気を付けながら聴く。	○トランペットとホルンの音色の違いや重なり合う響きに関心をもてるように，曲想の違う曲を比較鑑賞する活動を設定する。	**◇トランペットとホルンの音色の違いや重なり合う音の響きに関心をもって，曲想と音色や響きとの関わりについて発言をしたり，記述したりしている。　＜発言・記述①②③＞**
	１		○『パフ』を歌ったり，範奏ＣＤを聴いたりして，学習のめあてをつかむ。 学習のめあて きれいに音を重ねて合奏しよう	○楽器の重なり方による，曲想の違いに気付けるように，リコーダー二重奏，合奏の比較鑑賞をする時間を設定する。	◇複数の楽器や旋律が重なる合奏に関心をもち，表したい合奏のイメージについてて発言したり記述している。　＜発言・記述③＞
追求する	１		○『パフ』のリコーダー，鉄琴，キーボードの旋律を歌ったり，リコーダーや鍵盤ハーモニカで演奏したりする。	○正しいリズムで演奏できるように，拍に合わせて階名唱をする時間を設定する。	◇各楽器の旋律の違いに気付き，リコーダーや鍵盤ハーモニカで，正しいリズムで演奏している。　＜表現①＞
	２		○『パフ』のリコーダー，鉄琴，キーボードの旋律を，各楽器で演奏する。	○リコーダーや鉄琴，キーボードがそれぞれ拍に合わせて演奏できるように，同じ楽器の中で演奏する人と，拍打ちをしながら階名唱をする人に分かれて演奏する場を設定する。	◇リコーダーや鉄琴，キーボードで，拍に合わせて正しいリズムで演奏している。　＜表現①＞
	１		○『パフ』の自分の担当する楽器を使い，少人数で合奏をする。	○互いの楽器の音や旋律の響きを聴いて，演奏の仕方を試しながら工夫できるように，各楽器が入った少人数のグループを編成する。	◇楽器の音や旋律の重なる響きを聴いて，拍を意識したり低音の旋律に合わせたり演奏の仕方を試しながら，工夫して演奏している。　＜表現・記述②＞
	２		○『パフ』を全員で，拍を意識し，楽器の音や旋律の重なる響きを聴きながら，合奏をする。	○全員で音を合わせて演奏できるように，自分たちの演奏を録音したものを聴いて,演奏の仕方について話し合い，試奏する時間を設定する。	**◇楽器の音や旋律の響きを聴きながら音を合わせて演奏する方法を考えて発言したり，演奏に生かしたりしている。　＜表現・発言②＞**
まとめる生かす	１		○『パフ』を互いの楽器の音や旋律の重なる響きを聴き合いながら，合奏をする。。	○きれいに音を合わせて演奏するための方法を想起して合奏や記述ができるように，方法をまとめた模造紙や学習プリントを見返す時間を設定する。	**◇拍を意識し，互いの音や副次的な旋律の重なる響きを聴きながら楽しく音を合わせて演奏している。　＜表現①②③＞**

【備考】
・学習する音楽を形づくっている要素：音色，音の重なり，拍，反復

音楽科　３年

題材	９　せんりつを重ねてあそぼう				２・３月（８時間）
目標	旋律や音の重なりを感じ取り，互いの歌声や楽器の音を聴き合いながら演奏する。				
評価規準	(①知　・　技)曲想と音の重なりの関わりに気付き，互いの歌声や楽器の音を聴き合い，音を合わせて演奏している。 (②思・判・表)旋律の重なる和音の響きを感じ取り，音を重ねて演奏することについて思いや意図をもったり，主旋律と副次的な旋律の重なりによって生まれる響きの美しさを味わって聴いたりしている。 (③主体的態度)旋律や音の重なり方の違いに関心をもち，互いの旋律を聴き合いながら表現しようとしている。				
教材	ア…【鑑】「アルルの女」第Ⅰ組曲から　かね　　ビゼー 作曲 イ…歌おう声高く　　花岡恵 作詞　　長谷部匡俊 作曲　　ヘ長調　　４分の３拍子 ウ…エーデルワイス　　リチャードロジャーズ 作曲／佐井孝彰 編曲　　ハ長調　　４分の３拍子				
過程	時間	配分	学習活動	指導上の留意点	評価項目＜評価方法（観点）＞※太字は「記録に残す評価」
であう	２	ア	○『かね』を聴いたり，『歌おう声高く』を歌ったりして，学習のめあてをつかむ。 学習のめあて 音の重なりを感じとろう	○旋律の重なりを意識して聴けるように，主旋律だけの演奏と副次的な旋律が重なったときの違いを比較鑑賞する時間を設定する。	**◇旋律の重なりに関心をもち，演奏から音が重なる美しさや旋律が重なるおもしろさを感じ取って，発言したり記述したりしている。** **＜発言・記述②＞**
追求する	２	イ	○『歌おう声高く』を，互いの歌声に気を付けながら重ねて歌う。	○旋律を重ねるおもしろさに気付けるように，歌うグループと聴くグループに分かれて旋律の重なりを聴き合える場を設定する。	◇互いの歌声を重ねるおもしろさをに気付いて発言したり，楽しみながら歌っている。 ＜表現①②③＞
	１	ウ	○『エーデルワイス』の主旋律や副旋律を，キーボードやリコーダーで演奏する。	○互いの旋律の動きに気付けるように，全ての旋律を演奏したりロずさんだりする機会を設定する。	◇互いの旋律を重ねて演奏することについて思いや意図をもち，発言したり記述したりしている。 ＜発言・記述②＞
	２		○『エーデルワイス』の主旋律と副次的な旋律を，互いの音に気を付けながら，キーボードやリコーダーで演奏する。	○それぞれの楽器の重なりの美しさを味わえるように，キーボードやリコーダーの音を重ねて演奏する時間を設定する。	**◇互いの旋律を聴きながら，楽器の基本的な奏法に気を付けて演奏している。**　**＜表現①＞**
まとめる生かす	１		○『エーデルワイス』を互いの歌声や音を聴き合いながら演奏する。	○楽器による重なりのよさを感じ取れるように，少人数で合奏し，互いに聴き合う場を設定する。	**◇互いの旋律の重なった響きを聴きながら，音色に気を付けて，キーボードやリコーダーを演奏している。**　**＜表現①②③＞**
【備考】 ・学習する音楽を形づくっている要素：音の重なり，音色					